

雲仙天草国立公園

湯けむり漂う雲仙岳と
島々連なる天草が織り成す“水陸の大展望”

本公園は、昭和9(1934)年に我が国最初の国立公園の一つとして誕生し(雲仙国立公園)、昭和31(1956)年には天草地域が追加されました(雲仙天草国立公園)。本公園の特長は、湯けむり漂う雲仙岳(温泉岳)の火山景観と、島々が連なる天草の海洋景観が織り成す、水陸の大展望です。雲仙地域は、20を超える山々から成る雲仙岳を中心とした島原半島の山岳地域で、三方の海とのセットで様々なパノラマが楽しめます。山名の由来である地獄の温泉をはじめ、火山活

動を随所で体感できます。天草地域は、大小120の島々を含む多島海で、沈降海岸特有の湾入、陸繋島や海蝕崖など、海岸は変化に富み、海中ではサンゴ類も見られます。両地域は、「島原・天草一揆」で知られるキリスト教の歴史をはじめ、海外文化がいち早く到来した地域であり、史跡が多く見られます。また近年では、両地域の大地の成り立ちや恵みを知って楽しむ公園として、国立公園区域を核とする「島原半島ジオパーク」が認定されています。

指定	1934年3月16日
面積	28,335 ha (陸域のみ)
	長崎県・熊本県・ 鹿児島県

水のある風景を楽しむ



妙見浦



大ヶ瀬

山や植物を楽しむ



雲仙地獄



白嶽湿地

文化・暮らしにふれる



教会の見えるチャペルの鐘展望公園



島原素麺

生き物に出会う



オオルリ



ルリスズメとホウライヒメジ

Itinerary

雲仙岳の火山活動が作った
大地と風光明媚な天草の海で、
自然に寄り添ったライフスタイルを体感

雲仙天草国立公園は湯けむり漂う雲仙岳の火山景観と島々が連なる天草の海洋景観が織り成す、「水陸の大展望」が特長です。雲仙は火山の噴出物から、また天草は堆積した地層が隆起したことにより成立しました。雲仙では、16世紀から人々が守ってきた地域特有の「ツツジ」の保全活動や、火砕物によって形成された斜面や水捌けのよい土壌を生かした循環型農業に触れることで、火山と共生してきた人々の暮らしを体験します。天草では、シーカヤックを通じて自然をダイレクトに感じ、その素晴らしさや自然の恵みを体感します。

webサイトへ

Day
1

「ミヤマキリシマ」の保全活動や
個性豊かな伝統野菜が並ぶ
直売所への立ち寄り

- 8:30 ● 専用車
} (長崎市内から田代原へ移動)
- 10:00 ● ツツジの下草刈り体験
} 16世紀から守ってきた
12:00 「ツツジ」の保全活動
- 12:00 ● 昼食
} 13:00
- 13:00 ● 座禅体験や散策などの
} リラクゼーション体験
14:30
- 14:30 ● 専用車(千々石へ移動)
} オーガニック直売所 タネト
15:00
- 15:30 ● 専用車(雲仙温泉へ移動)
} 16:00
- 16:00 ● ホテル(雲仙温泉)

Day
2

自然の材料を使った染め物体験、
昔ながらの循環型農業で
栽培された野菜の収穫体験

- 9:00 ● 専用車
} (雲仙つむら農園へ移動)
- 9:30 ● 野菜の収穫
} 循環型農業体験
11:30
- 12:00 ● 昼食
- 13:00 ● 専用車(諏訪の池へ移動)
- 13:30 ● 自然とふれあい
} 染め物体験
15:30
- 専用車(口之津港へ移動)
- 16:00 ● フェリー
} (口之津港～鬼池港)
- 16:30 ● 専用車(天草市へ移動)
- 17:00 ● ホテル

Day
3

カヤックで天草の海を
体感しつつ、海洋ゴミを収集し、
自然環境に優しい
暮らし方を考える

- 8:00 ● 専用車(松島町へ移動)
} 8:40
- 9:00 ● シーカヤックツアー
} カヤックから眺める天草と普賢岳、
12:00 海洋ゴミ拾いで環境問題を考える
- 12:30 ● 昼食
} 13:30
- 13:30 ● 専用車
} (熊本市内へ移動へ)
- 15:00 ● 熊本市内

お問い合わせ

九州地区地方環境事務所
location 〒860-0047
熊本県熊本市西区春日2丁目10番1号
熊本地方合同庁舎B棟4F
TEL 096-322-2412
MAIL REO-KYUSHU@env.go.jp

雲仙自然保護官事務所
location 〒854-0621
長崎県雲仙市小浜町雲仙320
TEL 0957-73-2423
MAIL REO-KYUSHU@env.go.jp

天草自然保護官事務所
location 〒863-0014
熊本県天草市東浜町10-1
三貴ビル5階
TEL 0969-23-8366
MAIL REO-KYUSHU@env.go.jp